

平成 27 年度いじめ問題等の対応について

1 27 年度 (4~12 月) 報告のあったいじめ認知件数

	1 学期	2 学期	3 学期	計	被害者 学年・性別
小学校	7	10		17	小 1 男(1)、小 1 女(1)、小 2 男(4)、小 3 男(3)、 小 3 女(1)、小 4 男(2)、小 5 男(2)、小 5 女(1) 小 6 男(2)
中学校	11	7		18	中 1 男(7)、中 1 女(3)、中 2 男(4) 中 2 女(2)、中 3 男(2)

※ 年間いじめ認知件数 (過去 5 年間：年度末問題行動等報告結果より)

	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	26 年度 見直し
小学校	6	11	4	9	8	34
中学校	10	8	10	13	15	26

2 いじめの態様 ※ 複数に分類整理してあるため、認知件数とは合致しない。

・冷やかされたり、からかわれたりした	小(8) 中(11)
・仲間はずれにされたり、無視されたりした	小(2) 中(1)
・軽くぶつけられたり、遊ぶふりでたたかれたりした	小(2) 中(6)
・ひどくぶつかられたり、たたかれたりした	中(2)
・金品を隠されたり、盗まれたりした	中(1)
・嫌なこと、恥ずかしいことをされる	小(9) 中(9)
・パソコンや携帯電話等で	中(1)

3 いじめ被害の状況等

- (1) 遊びやふざけ半分によるズボンおろしなどが多くみられる。
- (2) 冷やかしゃからかい、心無い不適切な言動など軽率な言動による相手の心を傷つける事案が目立つ。
- (3) いじめ認知のきっかけは、学校職員による発見に加え、友達の手助けによるものが多くみられた。

4 解消の状況 (通年) * 昨年度からの取組継続 4 件を含む

解消済み	解決に向けて取組中	取組中
23	7	9

5 いじめ対策の取組

- (1) 市スクールソーシャルワーカーの配置
- (2) 全小中学校へのハイパー Q U 検査の実施
- (3) 各中学校区いじめ見逃しゼロスクールの取組
- (4) 教職員研修の実施
- (5) 指導主事による学校訪問